

(表中敬称略)

|               |                           |                            |        |
|---------------|---------------------------|----------------------------|--------|
| 会議名           | REIM産学連携コンソーシアム合同会議 (第2回) |                            |        |
| 日時            | 令和5年3月6日(月) 14:00~16:00   |                            |        |
| 場所            | 近畿建設協会及びオンライン             |                            |        |
| 出席者(計13名)     |                           |                            |        |
| 役職等           | 所属(学校等・部門・部署)             | 役職                         | 氏名     |
| 産             | 一般社団法人近畿建設協会              | 理事・技師長                     | 黒谷 努   |
| 産             | 一般社団法人近畿建設協会技術部           | 部長                         | 栗津 誠一  |
| 産             | 瀧上工業株式会社 営業本部 大阪支店        | 技術部長                       | 先本 勉   |
| 産             | 一般社団法人近畿建設協会              | チーフ                        | 小室 篤史  |
| 産             | 西日本高速道路株式会社(関西支社)         | 構造担当部長                     | 佐溝 純一  |
| 産             | 一般社団法人建設コンサルタント協会近畿支部     | 参与(中央復建コンサルタント株式会社)        | 田底 成智  |
| 産             | 国土交通省近畿地方整備局近畿技術事務所       | 近畿技術事務所長                   | 増田 安弘  |
| 学(連携校)        | 福井工業高等専門学校                | 教授                         | 辻野 和彦  |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 教授・社会基盤メンテナンス教育センター長       | 玉田 和也  |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 准教授・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長 | 毛利 聡   |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 特命准教授                      | 嶋田 知子  |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 特命助教                       | 掛 園恵   |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | (事務局)                      | 辻村 さやか |
| オンライン出席(計19名) |                           |                            |        |
| 産             | 西日本高速道路株式会社(技術環境部)        | 技術研修・開発担当課長(茨木技術研修センター長)   | 三好 真史  |
| 学(連携校)        | 福島工業高等専門学校                | 校長                         | 山下 治   |
| 学(連携校)        | 福島工業高等専門学校                | 教授                         | 齋藤 充弘  |
| 学(連携校)        | 福島工業高等専門学校                | 教授                         | 緑川 猛彦  |
| 学(連携校)        | 福島工業高等専門学校                | 助教                         | 浅野 貴元  |
| 学(連携校)        | 福島工業高等専門学校                | 助教                         | 相馬 悠人  |
| 学(連携校)        | 長岡工業高等専門学校                | 校長                         | 小林 幸夫  |
| 学(連携校)        | 長岡工業高等専門学校                | 教授                         | 井林 康   |
| 学(連携校)        | 長岡工業高等専門学校                | 助教                         | 白井 一義  |
| 学(連携校)        | 福井工業高等専門学校                | 教授                         | 辻野 和彦  |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 校長                         | 内海 康雄  |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 総務課長                       | 増永 武夫  |
| 学(代表校)        | 舞鶴工業高等専門学校                | 総務係長                       | 芦田 康弘  |
| 学(連携校)        | 香川高等専門学校                  | 校長                         | 田中 正夫  |
| 役職等           | 所属(学校等・部門・部署)             | 役職                         | 氏名     |

|        |                |                           |       |
|--------|----------------|---------------------------|-------|
| 学（連携校） | 香川高等専門学校       | 准教授・社会基盤メンテナンス教育センター長     | 林 和彦  |
| 学（連携校） | 香川高等専門学校       | 助教・社会基盤メンテナンス教育センター副センター長 | 入江 正樹 |
| 学（連携校） | 放送大学学園総合戦略企画室  | 室長（委員代理）                  | 田村 卓也 |
| 学（連携校） | 放送大学学園         | 主任                        | 松本 雄一 |
| 学（連携校） | 国立大学法人長岡技術科学大学 | 教授, 副学長（教務・高専連携・広報担当）     | 武田 雅敏 |

議事次第

1. 議長挨拶 舞鶴工業高等専門学校 校長 内海 康雄
  
2. 今年度の事業成果（報告）
  - (1) 2022 年度事業実施状況 …………… 資料 1
  - (2) 連携高専における取組状況 …………… 資料 2-1  
…………… ~2-4
  
3. 来年度の事業計画（審議）
  - (1) KOSEN-REIM事業概要（2023 年度版） …………… 資料 3
  - (2) KOSEN-REIM会議開催計画（2023 年度案） …………… 資料 4
  
4. 各部会からの報告（報告）
  - (1) リカレント教育プログラム開発部会の報告
    - ・リカレント教育プログラム開発部会（R4. vol. 1, vol. 2）報告 …………… 資料 5-1
    - ・リカレント教育プログラム開発部会（R4. vol. 1 議事概要） …………… 資料 5-2
    - ・リカレント教育プログラム開発部会（R4. vol. 2 議事概要） …………… 資料 5-3
  - (2) 実務家教員育成研修プログラム開発部会の報告
    - ・実務家教員育成研修プログラム開発部会（R4. vol. 1, vol. 2）報告 …………… 資料 6-1
    - ・実務家教員育成研修プログラム開発部会（R4. vol. 1 議事概要） …………… 資料 6-2
    - ・実務家教員育成研修プログラム開発部会（R4. vol. 2 議事概要） …………… 資料 6-3
  - (3) 人材育成・活用システム設計部会の報告
    - ・人材育成・活用システム設計部会（R4. vol. 1, vol. 2）報告 …………… 資料 7-1
    - ・人材育成・活用システム設計部会（R4. vol. 1 議事概要） …………… 資料 7-2
    - ・人材育成・活用システム設計部会（R4. vol. 2 議事概要） …………… 資料 7-3
  
5. REIM産学連携コンソーシアム構成機関（審議）
  - ・REIM産学連携コンソーシアム規約（別表）改定方針案 …………… 資料 8
  
6. 意見交換『一般財団法人設立へ向けたアドバイス』
  - ・一般財団法人設立へ向けた進捗状況
  
7. その他（今後の予定, 事務連絡等）

以上



写真1 舞鶴高専 内海校長挨拶



写真2 会場風景



写真3 会場風景



写真4 対面参加者

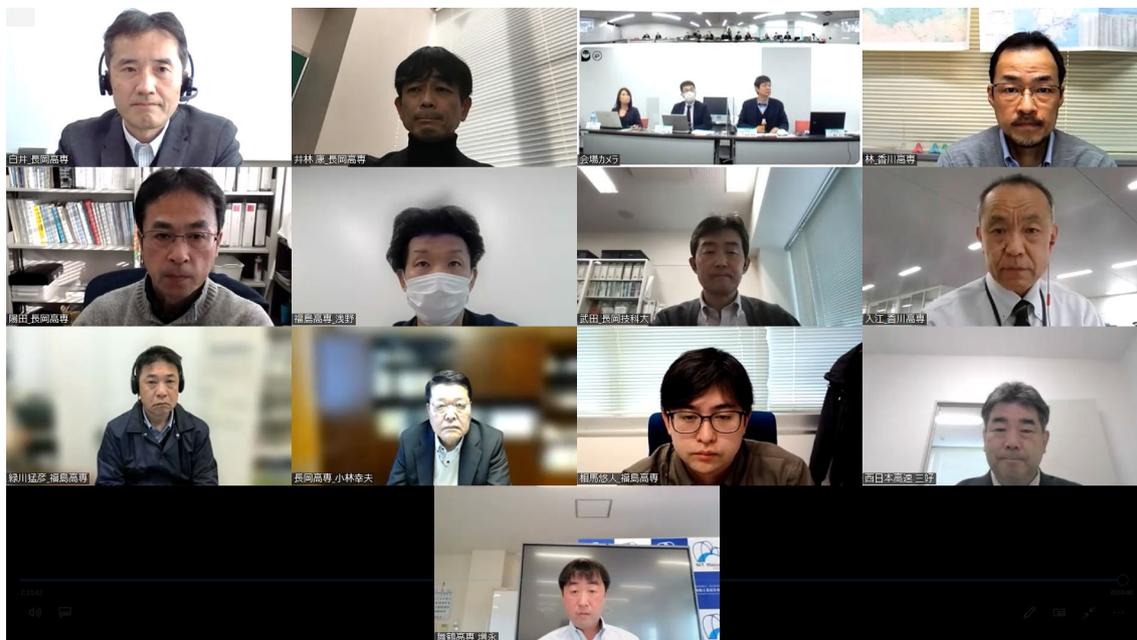


写真5 オンライン参加者

# REIM産学連携コンソーシアム合同会議（第2回）議事録

日時：令和5年3月6日（月）14:00～16:00

場所：近畿建設協会会議室及びオンライン

（文中敬称略）

## 1. 挨拶

- (1) 議長挨拶 舞鶴工業高等専門学校 校長 内海 康雄

## 2. 今年度の事業成果（報告）

- (1) 2022年度事業実施状況 …………… 資料1  
(2) 連携高専における取組状況 …………… 資料2-1～2-4  
✓議事2について質問なし。

## 3. 来年度の事業計画（審議）

- (1) KOSEN-REIM事業概要（2023年度版） …………… 資料3  
(2) KOSEN-REIM会議開催計画（2023年度案） …………… 資料4  
✓議事3について質問なし。

## 4. 各部会からの報告（報告）

- (1) リカレント教育プログラム開発部会の報告 …………… 資料5-1～5-3  
✓部会議事録を参照  
✓2023年度からは橋梁診断技術者育成課程を、文科省のBPおよび厚労省の特定一般教育訓給付制度、2つの認定プログラムとして開催していくことが決定した。
- (2) 実務家教員育成研修プログラム開発部会の報告 …………… 資料6-1～6-3  
✓部会議事録を参照  
✓専門教士（建設）の資格付与について補足。KOSEN-REIM事業スタート当初は高専機構理事長名で付与する予定だったが、最終的に舞鶴高専校長名で資格付与することになった。  
✓受講生のインセンティブの一つとして、CPD, CPDSについて土木学会事務局に確認した結果、CPDは年間80ユニット程度（eラーニング・講習会とも認定対象）。CPDSはeラーニングは認定対象外のため、認定されるのは講習会のみだが50単位程度を見込める。正式な認定数はプログラム審査確定後になる。
- (3) 人材育成・活用システム設計部会の報告 …………… 資料7-1～7-3  
✓部会議事録を参照  
✓3/3（金）国土交通省総合政策局公共事業企画調整課に財団の設立趣旨及び、KOSEN-REIM事業の目指すところを説明した。国土交通省としての設立賛同の意志表明と設立後の特別会員でのご参加を打診し、前向きに検討いただいている。その他、設立記念式典等への参加等もお願いした。

## 5. REIM産学連携コンソーシアム構成機関（審議）

- ・REIM産学連携コンソーシアム規約（別表）改定方針案 …… 資料8
- ✓京都府北部社会基盤メンテナンス推進協議会だけでなく、連携4高専の各地域の地域協議会にも参加を検討いただきたい。2023/3/6時点の連携4高専の回答。
  - 地域で考えていることだけでなく他地域の現状を知るのは大事である。参加に向けて呼びかけていきたい。（福井高専）
  - 検討内容については、協議会の幹事会に諮り、進めていきたい。（香川高専）
  - 今後、提案をしていきたい。（長岡高専）
  - 浜通り地域社会基盤メンテナンス教育推進委員会の参加について、まずは事業責任者である齊藤先生と相談する。（福島高専）
- ✓シビル・ベテランズ&ボランティアズのコンソーシアム構成機関への追加審議。
 

大学の先生や企業の定年を迎えたがまだまだやる気と元気があり活躍したいと考えている方が集う技術力の高いボランティア団体。経験と実力によりご意見番を務めていただけると考えており、コンソーシアムに入っていたと考えている。（玉田先生）→異議なし

## 6. 意見交換『一般財団法人設立へ向けたアドバイス』

- ・一般財団法人設立へ向けた進捗状況
- ✓長岡高専は、新潟を中心に賛同をお願いしていくことになる。賛同いただくメリットをどう説明していくか。企業の技術者のリカレント教育を目的とするのも1つ、また高専という教育機関なので学生がそういった分野に従事できるよう技術者として輩出していくという点も教育の中に必要ではと感じている。
  - 高専しかできないことという切り口での説明もできる。お願いしに行く相手によって重みを変えたほうが良いかもしれない。高専生にもメリットがあることをもっと伝えていくことが大事と感じた。
- ✓講習会は小規模の会社の受講が多い。測量設計業協会に加入しているような会社。1人の受講料を超えるような賛同金に対してどう考えるかという点についてハードルがある。県下の小規模なコンサルについては香川県測量設計業協会の会長・副会長にも話はしておりある程度の理解は頂いているが、協会として入るとなると個別の会社の参加は不要となってしまうかということもあり、他府県と情報交換していきたい。また、ある程度の規模の会社で高専の運営方針に賛同できる場所は必ず話を持って行くが、そういったところは香川県産業振興会にすでに入っているの、更に別にお金を出すとすると会社内での切り分けが難しいとも聞いている。もう1点、全国区の会社の香川支店とも話はするが、本社への勧誘とバッティングしないかという点もある。
  - 3つめに対しては意志表明していただいている会社のリストを共有すれば良いかと思う。情報交換と分担を検討する。
- ✓例えば、本社で入ったら全部入ることになるのか、各支店単位で入るのかを明確にしたほうが良いと感じた。
- ✓評議会は意志決定機関。コンソーシアムにも重複して入っているメンバー（校長先生）がいるが大丈夫か整理したほうが良い。

→当初は評議員会にコンソーシアムへの参画もお願いしていたが、その後公務員法なども確認し、最終的には教育拠点を置く各高専校長と近畿建設協会にご参画いただくということ、またその他コンソーシアムの構成企業・団体からお引き受け頂ける方にはぜひ参画いただきたいということで個別に確認している。コンソーシアムからそのまま入る形にはなっていない。

✓拠出金を出していただいた方から意見を頂ける場を作ってはどうか。

→広く意見をいただける場としては高専の先生方とコミュニケーションできる場を設ける予定。皆さまからアイデアも頂きたい。

✓議論すればするほど堂々巡りになると感じている。多くの行政組織は入りたくてもどのように意思決定すればよいか決めかねている。国交省の話が進めば一気に進むのではと期待している。

→京都府に賛同をお願いしている。養父市は賛同及び入会予約をいただいた。自治体の設立賛同の進め方は苦戦中だが頑張っているところ。

✓皆様からさらにご意見・アイデア、賛同企業を紹介できる等あれば KOSEN-REIM 事務局宛てにメールいただきたい。

#### 7. その他（今後の予定、事務連絡等）

以上